

ダイショット Lineup

「ダイクロン」を鍛えて、より硬品質に。

独自のショットピーニング処理によって、「ダイクロン」を超えた
ダイショットが圧倒的な硬度を実現しました。



千代田第一工業は我社独自の技術力の開発で、高硬質被膜を提供します。

ダイショットとは・・・?

① 下 地 処 理



② ダイクロン処理



③ ショットピーニング処理

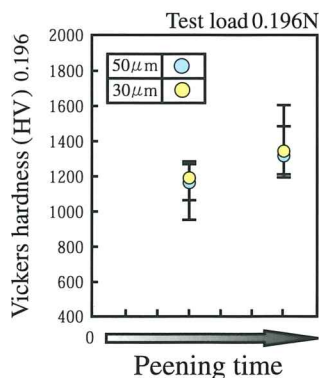


④ 検 査

ダイショットとは、ダイクロンにショットピーニングをする事によって、新しい効果をもたらす技術です。

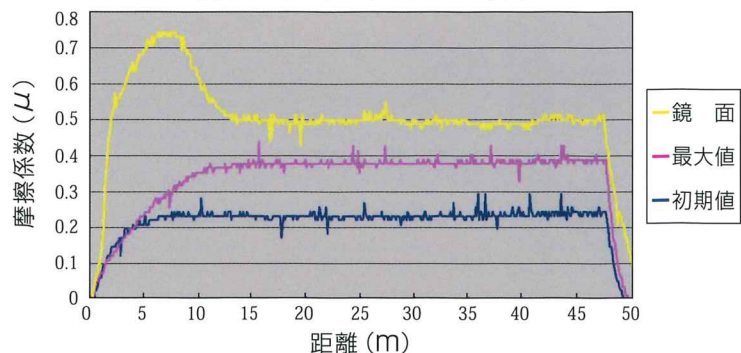
その成果は、第111回社団法人表面技術協会にて発表されました。そもそも、ショットピーニングとは冷間加工の一種であり、無数の鉄や非鉄金属の粒子を高速度で金属表面に噴射し、衝突させる事によって、表面の硬化や応力緩和、残留オーステナイトの除去などに利用されてきました。その技術を新しい発想で、応用したのが「ダイショット」です。

ダイショットの硬さについて



ダイショット摩擦係数データ

(対WC=タングステンカーバイト)



環境: DRY 荷重: L=2N (レベル4) 周速度: V=100mm/s
機器: ナノテック社製ボールオンディスク型摩擦摩耗試験器

ダイショットの特性 ①

「驚異の硬さ」

ダイショットは、Hv硬さで最高1400をマークし、通常のめっきの域を超えた新しいタイプの表面処理です。

ダイショットの特徴 ③

「たくさんの種類の材料に処理可能です」SKやSKDといった鉄系の材料から、ステンレス、アルミ、銅といった多種多様な材料に処理が可能です。

ダイショットの特性 ②

「驚異の滑り」

従来品に比べて、約20～40%の摩擦係数が下がります。このことは、摩耗の減少や相手材料の摩耗の防止など、多くの効果が期待できます。

ダイショットの特徴 ④

「ダイショット層が、なくなっても、ダイクロンコーティング」ダイショット層そのものは、数μmの処理ですが、その下地となっているのは「ダイクロン処理」であり、Hvで、1000前後の硬さを有しています。つまり、通常の硬質被膜より優れた性能を有しており、金属母材料に達する前に再処理をする事によって、材料を痛めることなく、使用することが可能です。

詳しくは、
ホームページを
ご覧ください。

クリック!!

<https://www.daikuron.com>